

2026年度
八戸学院大学
健康医療学部 人間健康学科
テーマ1

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かない。
- 2 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用する。
- 3 問題冊子に印刷不鮮明、ページの落丁などがあるときは、手を挙げて監督者に伝える。
- 4 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
- 5 問題冊子は持ち帰ってよい。

子どもの発育や健康の状態を把握するため、文部科学省では毎年、学校保健統計調査を実施しています。令和6年度の学校保健統計調査によると、裸眼視力1.0未満の者の割合は、学校段階が進むにつれて増加しており、小学校で36.84%、中学校で60.61%、高等学校では71.06%に達しています。いずれの段階においても、令和2～5年度を除いて過去最大の割合となっており、視力低下が子どもの健康に関する重大な課題であることが示唆されています（図1）。

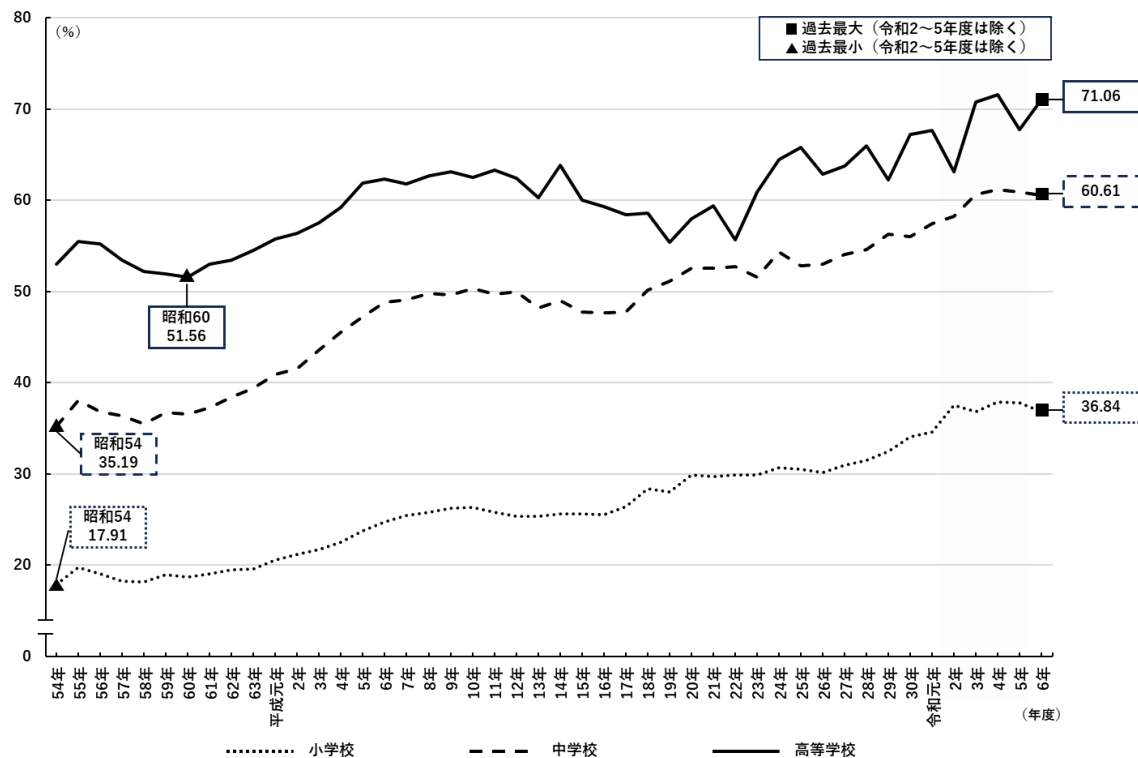


図1. 「裸眼視力1.0未満の者」の割合

（令和6年度学校保健統計調査「裸眼視力1.0未満の者」の割合（昭和54年度～令和6年度）データより作図）

このように、子どもの視力低下は年々顕著となっています。そこで、まず裸眼視力1.0未満の者の割合が学校段階とともに高くなっている要因について、あなたの考えを複数の観点から述べてください。次に、こうした視力低下を防ぐために各地で実施されている取り組みの中から、新聞記事やニュース等で紹介されているものを一つ挙げ、その内容とあなたが印象に残った理由を説明してください。さらに、その取り組みをより効果的にするために、どのような改善が考えられるか、あなたの意見を具体的に述べてください。字数は600字から800字以内とします。

参考文献

学校保健統計調査 年次統計 政府統計の総合窓口

(http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm)